

鋁工業指數參考図表集
(2024年6月速報)

2024年7月31日

經濟解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

2024年6月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	100.6	99.4	102.7	107.3
前月比	-3.6%	-4.3%	-0.6%	2.1%
指数水準	2024. 2 97. 4以来 ①2020. 5 87. 6 ②2020. 6 89. 4 ③2020. 4 95. 2	2024. 2 95. 9以来 ①2020. 5 87. 2 ②2020. 6 90. 7 ③2020. 4 93. 7	2024. 4 102. 4以来 ①2021. 2 93. 8 ②2021. 5 93. 9 ③2021. 3, 4 94. 0	2020. 6 111. 5以来 I 2020. 5 119. 1 II 2020. 6 111. 5 III 2020. 4 110. 7
前月比の動き	2か月ぶり－ (2024.4以来)	2か月ぶり－ (2024.4以来)	2か月ぶり－ (2024.4以来)	3か月ぶり＋ (2024.3以来)
前月比幅	2024. 1 -6. 7%以来 ①2020. 4 -10. 0% ②2020. 5 -8. 0% ③2024. 1 -6. 7%	2024. 1 -7. 5%以来 ①2020. 4 -10. 9% ②2024. 1 -7. 5% ③2020. 5 -6. 9%	2024. 1 -1. 7%以来 ①2022. 4 -3. 5% ②2020. 6 -2. 6% ③2020. 9 -2. 3%	2024. 3 7. 6%以来 I 2020. 4 13. 4% II 2020. 3 10. 2% III 2020. 5, 2024. 3 7. 6%
前年同月比(原指数)	-7.3%(100.3)	-7.7%(99.0)	-2.6%(103.5)	5.2%(108.0)
前年同月比の動き	2か月ぶり－ (2024.4以来)	2か月ぶり－ (2024.4以来)	7か月連続－ (2023.12～当月)	2か月ぶり＋ (2024.4以来)
前年同月比幅	2020. 9 -9. 7%以来 ①2020. 5 -25. 9% ②2020. 6 -18. 1% ③2020. 7 -16. 2%	2020. 9 -9. 7%以来 ①2020. 5 -27. 4% ②2020. 4 -17. 0% ③2020. 6 -16. 8%	2021. 8 -3. 8%以来 ①2021. 1 -10. 0% ②2021. 4 -9. 9% ③2021. 3 -9. 7%	2024. 3 6. 8%以来 I 2020. 5 38. 5% II 2020. 4 25. 6% III 2020. 6 21. 5%

1) I～IIIは2020年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

2024年6月の鉱工業生産の基調判断

「生産は一進一退ながら弱含み」

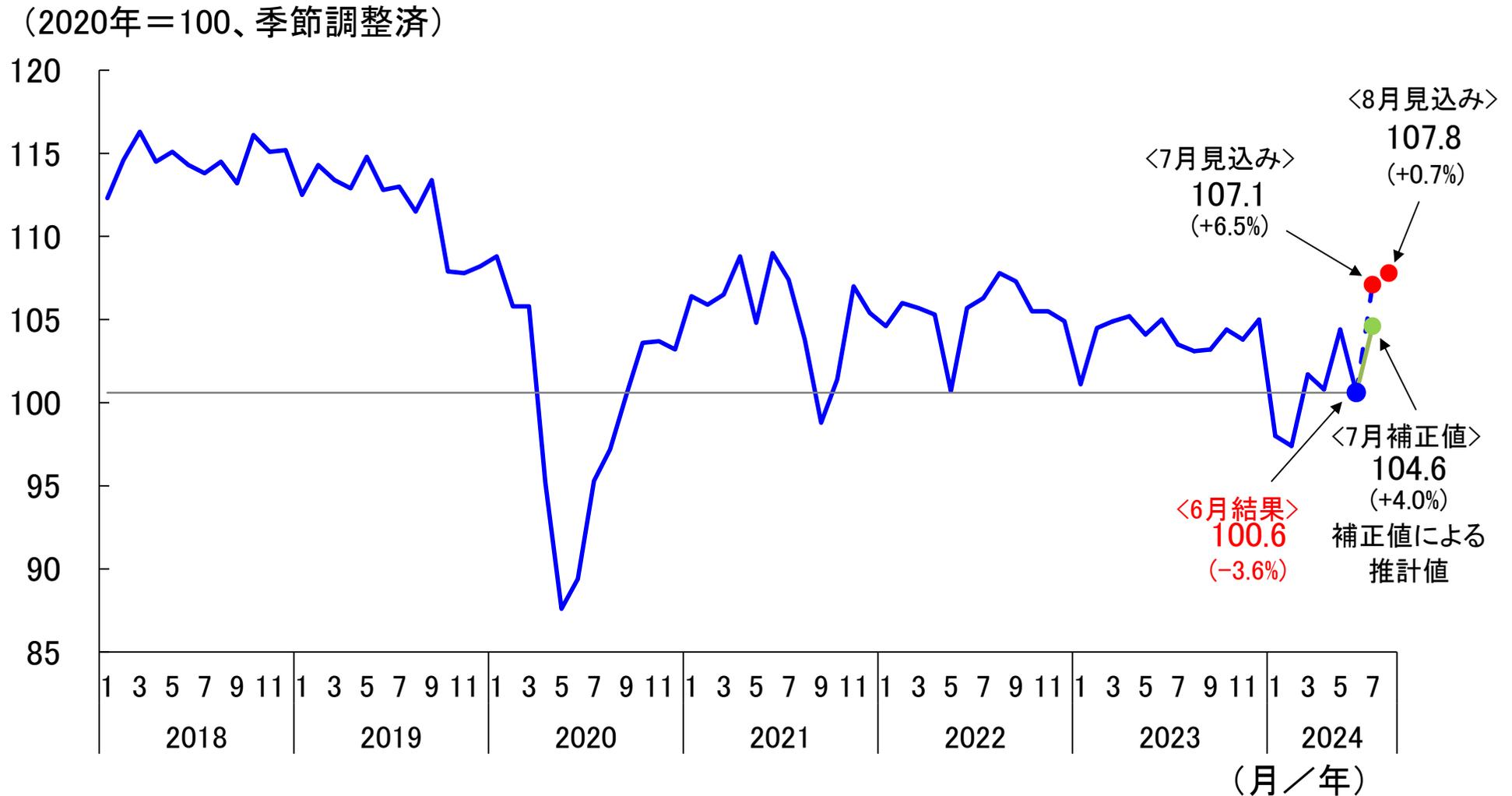
基調判断の推移

2020年4月～5月	(↓)	「生産は急速に低下している」
2020年6月	(↑)	「生産は下げ止まり、持ち直しの動き」
2020年7月	(→)	「生産は持ち直しの動き」
2020年8月～2021年7月	(↑)	「生産は持ち直している」
2021年8月～10月	(↓)	「生産は足踏みをしている」
2021年11月～2022年3月	(↑)	「生産は持ち直しの動きがみられる」
2022年4月	(↓)	「生産は足踏みをしている」
2022年5月	(↓)	「生産は弱含み」
2022年6月～7月	(↑)	「生産は一進一退」
2022年8月～9月	(↑)	「生産は緩やかな持ち直しの動き」
2022年10月	(↓)	「生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」
2022年11月～2023年2月	(↓)	「生産は弱含み」
2023年3月～6月	(↑)	「生産は緩やかな持ち直しの動き」
2023年7月～12月	(↓)	「生産は一進一退」
2024年1月～	(↓)	「生産は一進一退ながら弱含み」

(注) 「↑」前回の基調判断から上方修正、「↓」前回の基調判断から下方修正、「→」表現変更

鋳工業生産指数の動向と先行き

・ 2024年6月の鋳工業生産指数は、100.6(前月比-3.6%)と2か月ぶりの低下。



(注) 鋳工業指数(IIP)とは、月々の鋳工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、2020年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鋳工業全体の動きを示す代表的な指標
 (注) 補正値は、製造工業生産予測指数がもつ傾向的な部分を修正し、実際の鋳工業指数の動きをより適切に把握できるように試算したもの
 (注) 見込みの前月比は、製造工業生産予測指数の前月比を記載している

2024年6月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

・ 2024年6月の鉱工業生産指数は、100.6（前月比-3.6%）と2か月ぶりの低下。

		業種・品目名	前月比	寄与度
【低下方向に寄与】 鉱工業生産を低下方向へ引っ張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	自動車工業	-8.9%	-1.26%pt
	品目	普通乗用車	-12.3%	-0.73%pt
		駆動伝導・操縦装置部品	-8.1%	-0.14%pt
	2位の業種	生産用機械工業	-8.7%	-0.74%pt
	品目	半導体製造装置	-18.0%	-0.59%pt
		シヨベル系掘削機械	-7.8%	-0.08%pt
3位の業種	汎用・業務用機械工業	-8.3%	-0.61%pt	
品目	一般用蒸気タービン	-98.0%	-0.19%pt	
	コンベヤ	-35.5%	-0.18%pt	
【上昇方向に寄与】 鉱工業生産を上昇方向へ引っ張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	—	—	—
	品目			
	2位の業種	—	—	—
	品目			
	3位の業種	—	—	—
品目				

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

寄与度： 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

2024年6月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目(全体・財別)

<全体>

		品目名	前月比	寄与度
鉱工業生産を 低下方向に 引っ張った3品目	1位	普通乗用車	-12.3%	-0.73pt
	2位	半導体製造装置	-18.0%	-0.59pt
	3位	一般用蒸気タービン	-98.0%	-0.19pt
鉱工業生産を 上昇方向に 引っ張った3品目	1位	リチウムイオン蓄電池	16.6%	0.11pt
	2位	プラスチック加工機械	35.0%	0.07pt
	3位	超音波応用装置	32.5%	0.05pt

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与度
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	-10.0%	-1.58pt
		半導体製造装置	-18.0%	-0.59pt
		一般用蒸気タービン	-98.0%	-0.19pt
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-3.3%	-1.58pt
		モス型IC(メモリ)	-18.2%	-0.15pt
		駆動伝導・操縦装置部品	-8.1%	-0.14pt
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	-6.4%	-0.48pt
		普通乗用車	-12.3%	-0.51pt
		小型乗用車	-7.9%	-0.07pt
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	-0.8%	-0.15pt
		頭髮用化粧品	-14.9%	-0.09pt
		合成洗剤	-10.0%	-0.07pt
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	-2.6%	-0.15pt
		橋りょう	-18.5%	-0.04pt
		アルミニウム製建具	-6.1%	-0.03pt

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

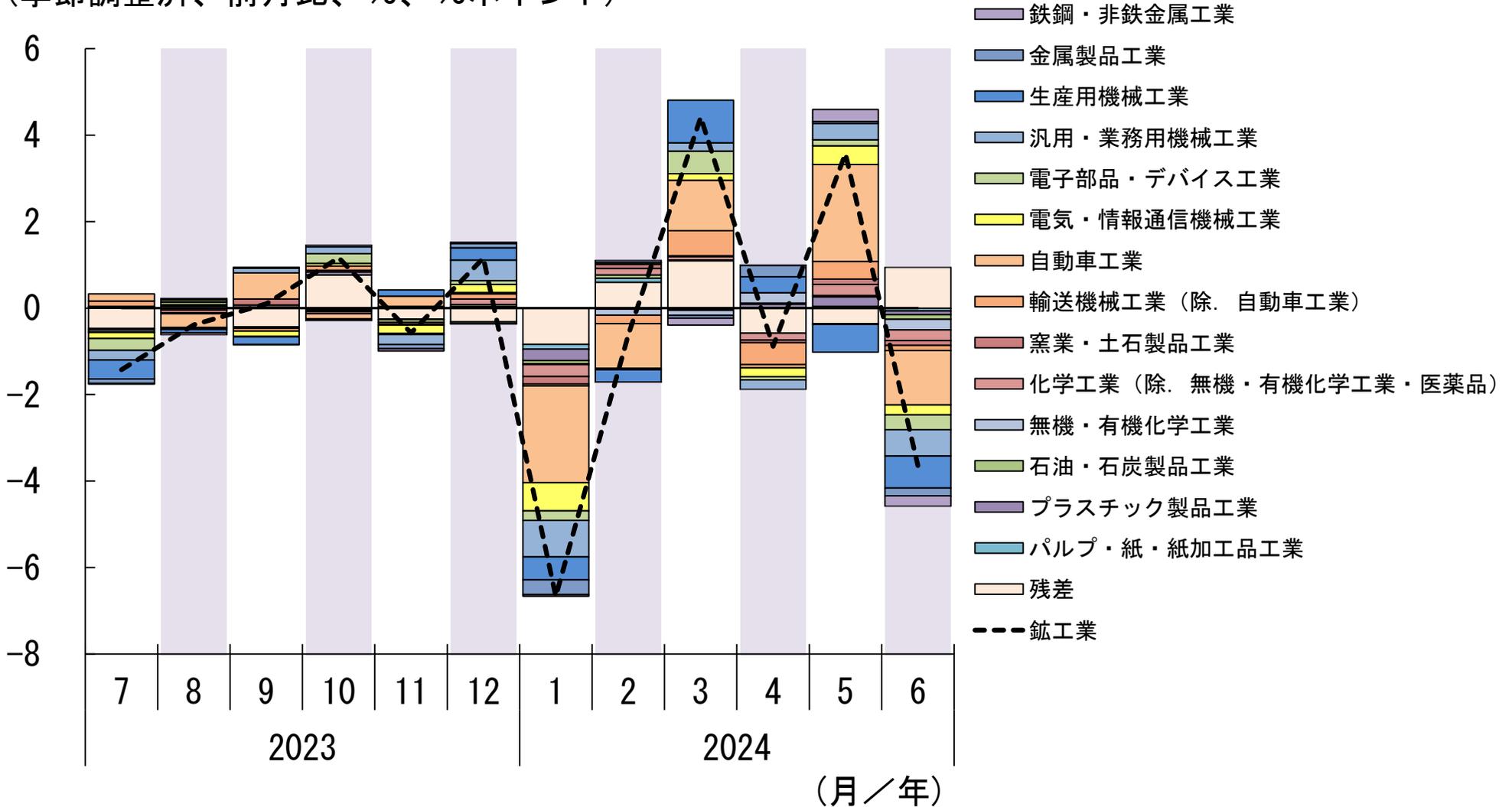
寄与度：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

鉱工業生産前月比 業種別の影響度合い

・2024年6月の生産指数は、自動車工業などが低下したため、前月比-3.6%と低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

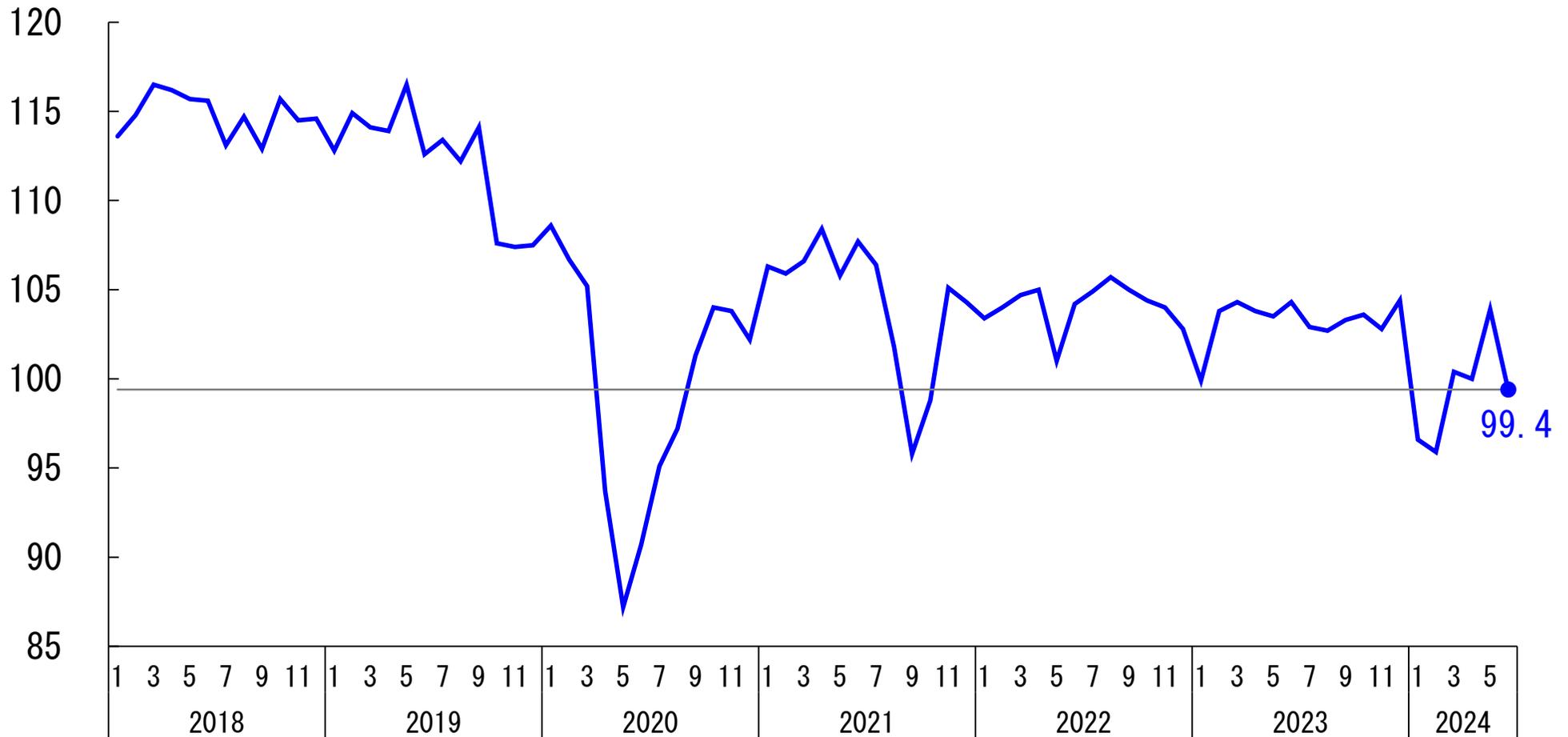


(注) 「残差」は、鉱工業生産全体の変動から主要14業種の影響度を差し引いたものである。

鋳工業出荷指数の動向

・ 2024年6月の鋳工業出荷指数は、99.4(前月比-4.3%)と2か月ぶりの低下。

(2020年=100、季節調整済)



(月/年)

2024年6月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（業種別）

・ 2024年6月の鉱工業出荷指数は、99.4（前月比-4.3%）と2か月ぶりの低下。

		業種・品目名	前月比	寄与度
【低下方向に寄与】 鉱工業出荷を低下方向へ引っ張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	生産用機械工業	-10.3%	-0.78%pt
	品目	半導体製造装置	-22.6%	-0.62%pt
		ショベル系掘削機械	-11.8%	-0.16%pt
	2位の業種	電気・情報通信機械工業	-9.4%	-0.74%pt
	品目	セパレート形エアコン	-13.9%	-0.10%pt
		ノート型パソコン	-22.8%	-0.08%pt
	3位の業種	自動車工業	-4.0%	-0.69%pt
	品目	普通乗用車	-3.7%	-0.28%pt
		駆動伝導・操縦装置部品	-8.0%	-0.16%pt
【上昇方向に寄与】 鉱工業出荷を上昇方向へ引っ張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	—	—	—
	品目			
	2位の業種	—	—	—
	品目			
	3位の業種	—	—	—
	品目			

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。
 寄与度： 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。
 季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

2024年6月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（財別）

	解説	品目名	前月比	寄与度
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-3.6%	-1.74%pt
		駆動伝導・操縦装置部品	-8.0%	-0.16%pt
		シャシー・車体部品	-9.4%	-0.11%pt
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財 (除. 輸送機械)	-10.5%	-1.36%pt
		半導体製造装置	-22.6%	-0.62%pt
		一般用蒸気タービン	-98.3%	-0.23%pt
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	-6.0%	-0.60%pt
		普通乗用車	-3.7%	-0.19%pt
		小型乗用車	-10.0%	-0.12%pt
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	-1.7%	-0.29%pt
		頭髮用化粧品	-13.1%	-0.05%pt
		合成洗剤	-10.8%	-0.04%pt
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	-4.5%	-0.25%pt
		アルミニウム製建具	-6.1%	-0.03%pt
		橋りょう	-18.5%	-0.03%pt

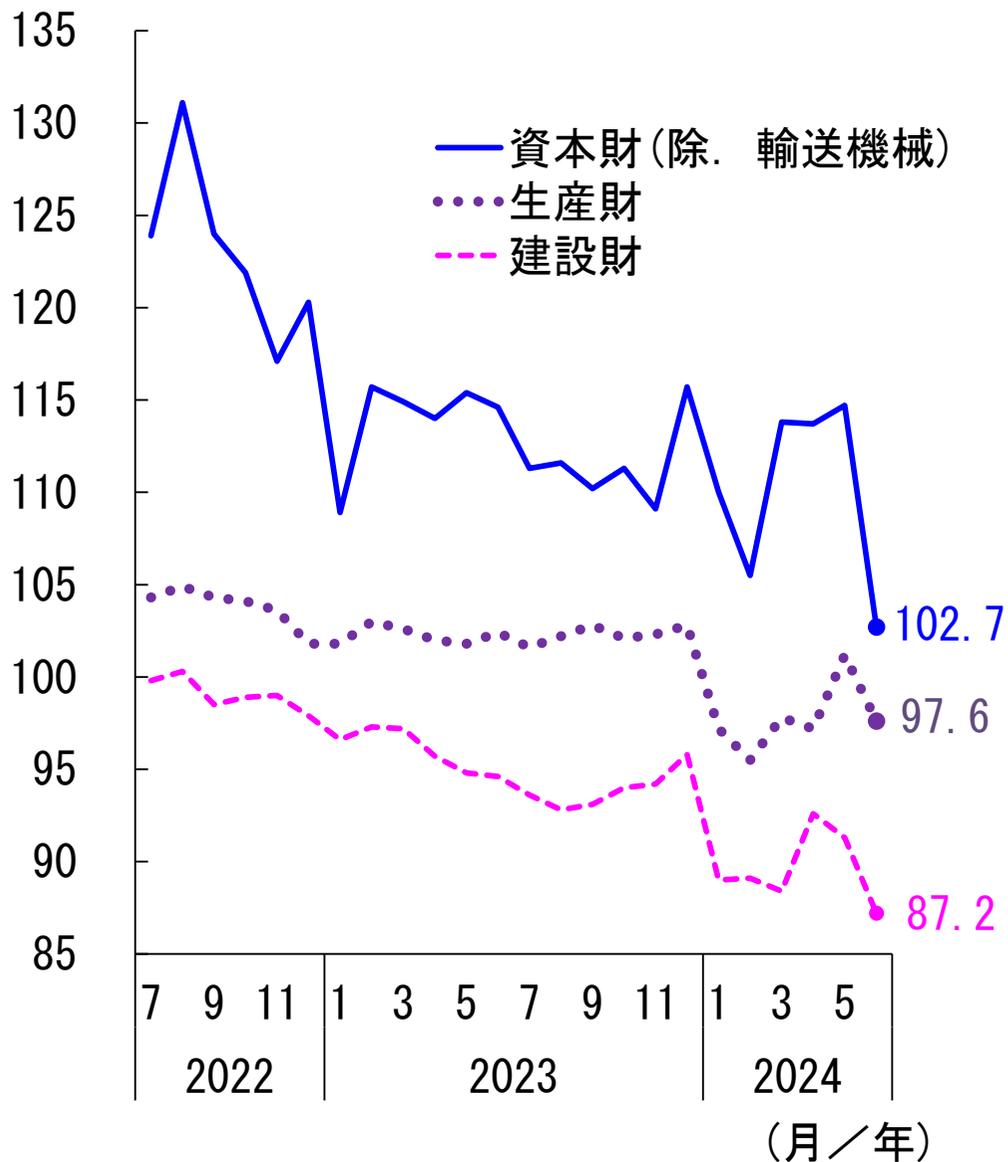
※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

寄与度： 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

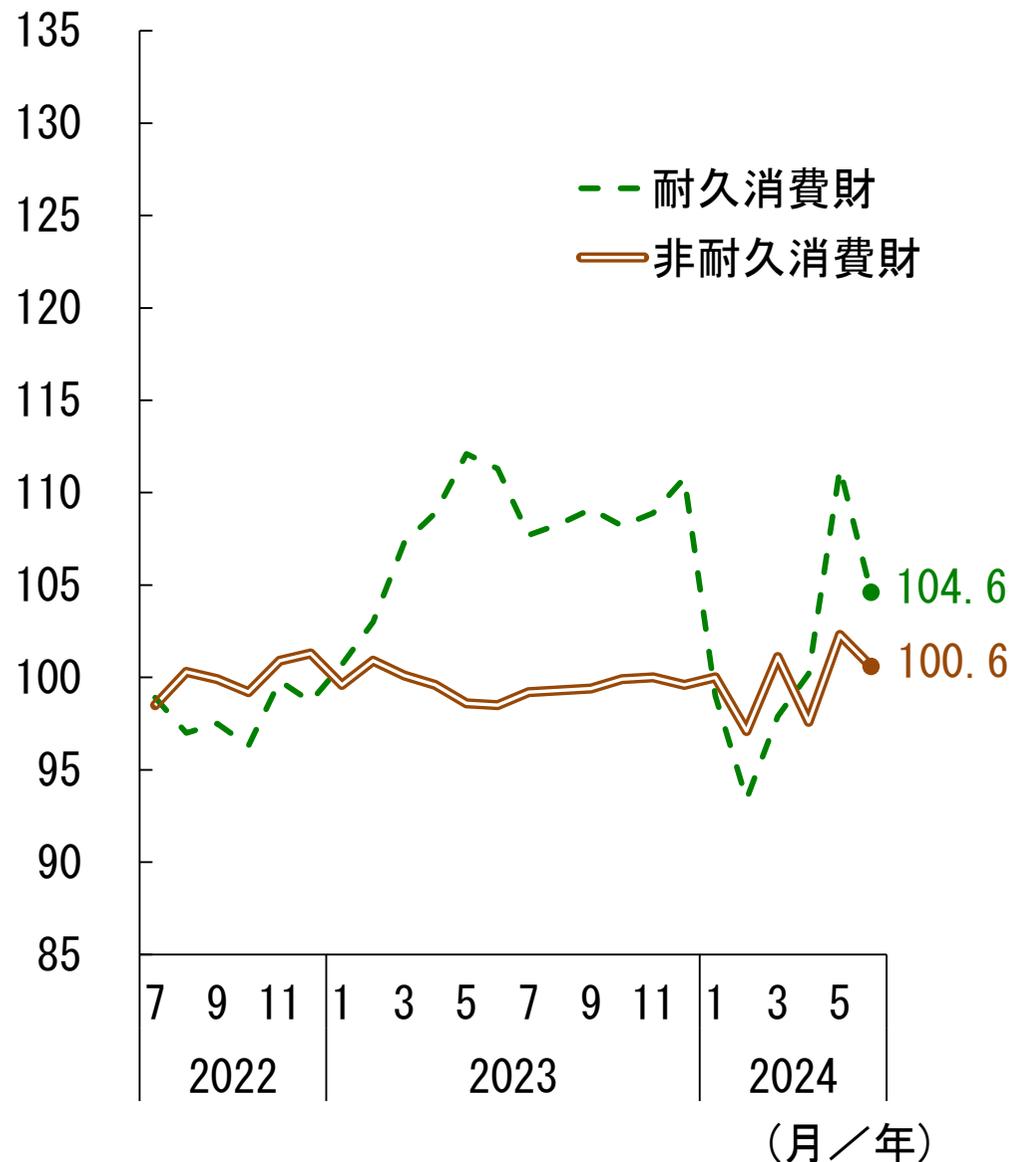
季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

財別出荷指数の動向

(2020年=100、季節調整済)



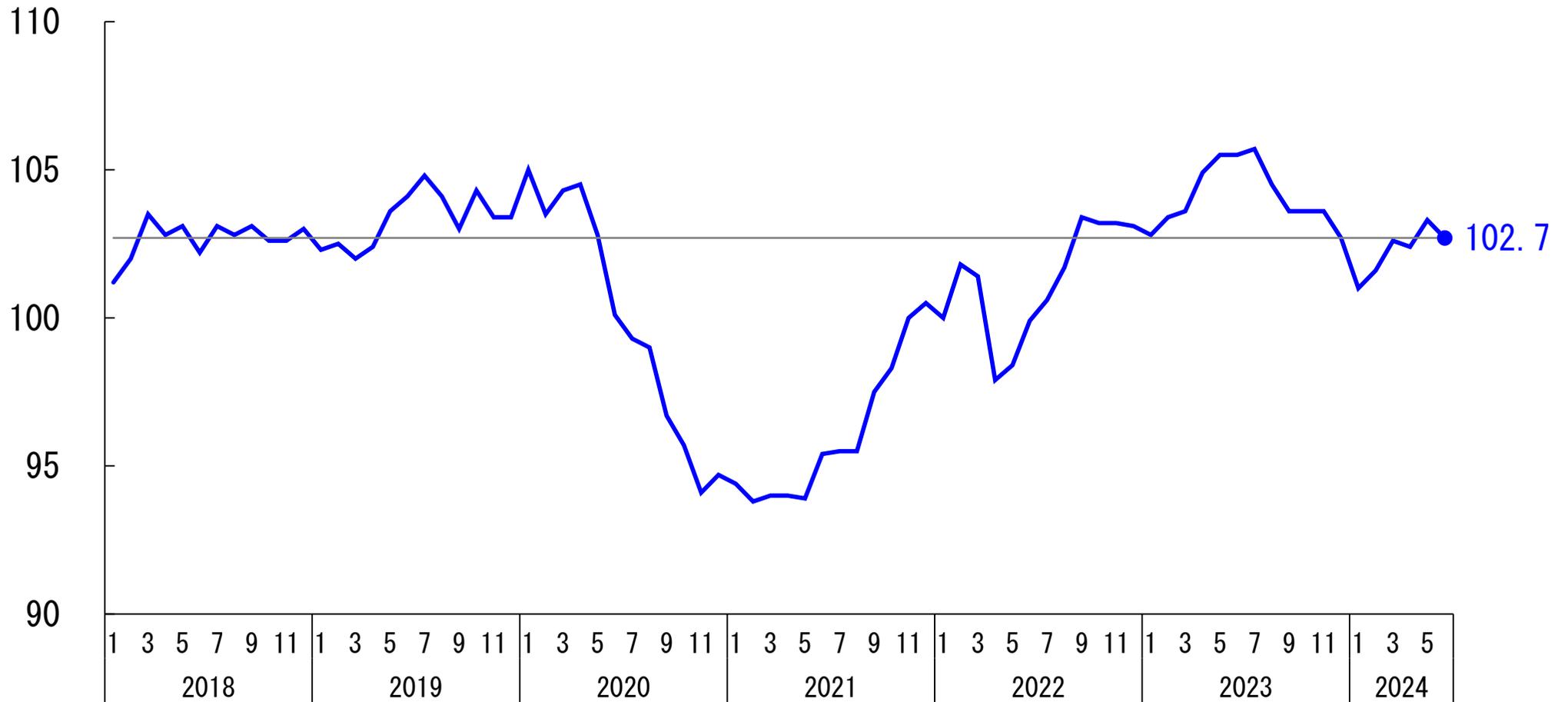
(2020年=100、季節調整済)



鋳工業在庫指数の動向

・ 2024年6月の鋳工業在庫指数は、102.7(前月比-0.6%)と2か月ぶりの低下。

(2020年=100、季節調整済)



(月／年)

2024年6月の鉱工業在庫指数を大きく動かした品目（業種別）

・ 2024年6月の鉱工業在庫指数は、102.7（前月比-0.6%）と2か月ぶりの低下。

		業種・品目名	前月比	寄与度
【低下方向に寄与】 鉱工業在庫を低下方向へ引っぱり張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	自動車工業	-21.1%	-1.93%pt
	品目	普通乗用車	-24.4%	-1.25%pt
		普通トラック	-17.3%	-0.26%pt
	2位の業種	汎用・業務用機械工業	-1.7%	-0.11%pt
	品目	軸受	-4.8%	-0.09%pt
		カメラ用交換レンズ	-5.2%	-0.06%pt
【上昇方向に寄与】 鉱工業在庫を上昇方向へ引っぱり張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	鉄鋼・非鉄金属工業	2.0%	0.30%pt
	品目	鋼半製品	3.8%	0.17%pt
		電気鋼	8.5%	0.04%pt
	2位の業種	電気・情報通信機械工業	2.2%	0.15%pt
	品目	リチウムイオン蓄電池	31.4%	0.31%pt
		セパレート形エアコン	1.2%	0.01%pt
3位の業種	電子部品・デバイス工業	4.0%	0.14%pt	
	品目	混成 I C	5.7%	0.03%pt
		アクティブ型液晶パネル（大型）	12.5%	0.03%pt

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

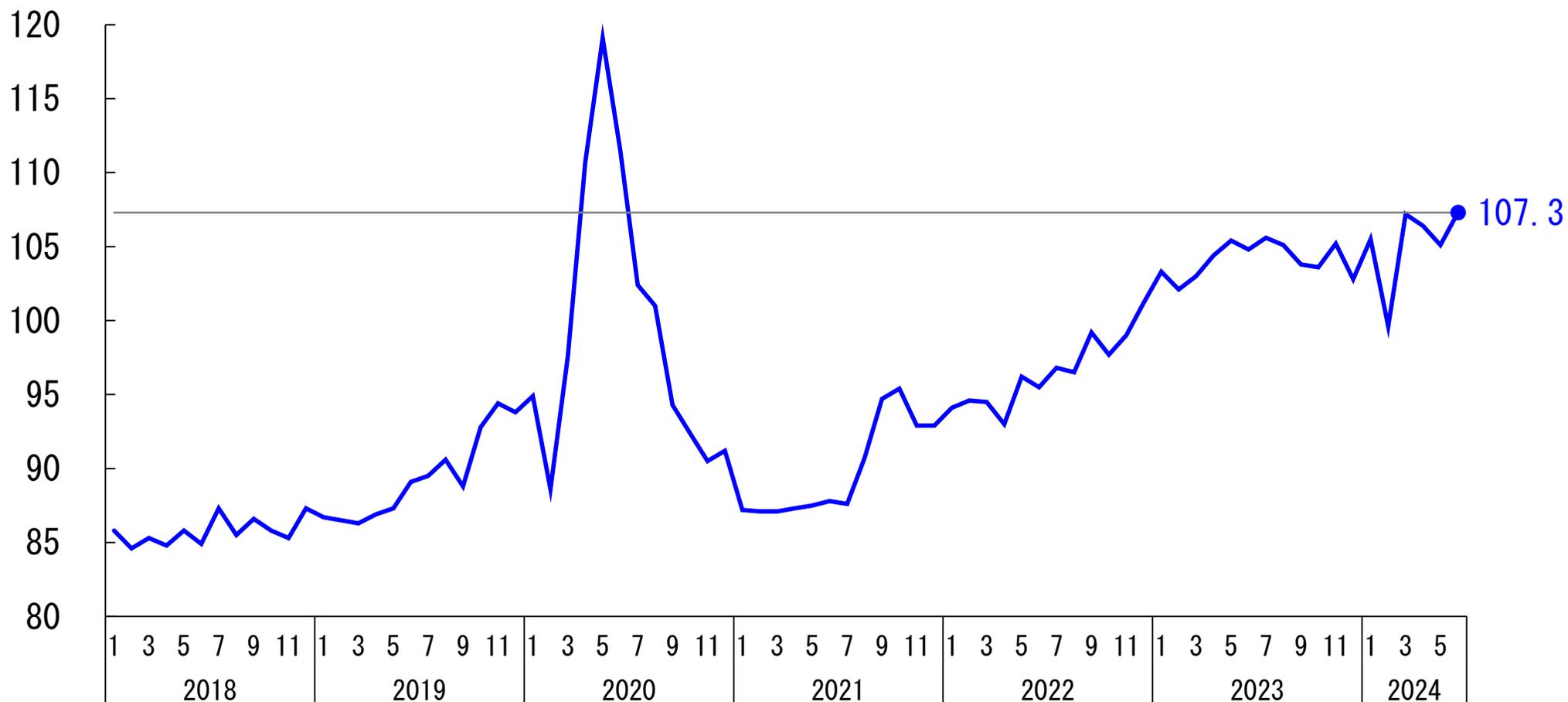
寄与度： 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

鋳工業在庫率指数の動向

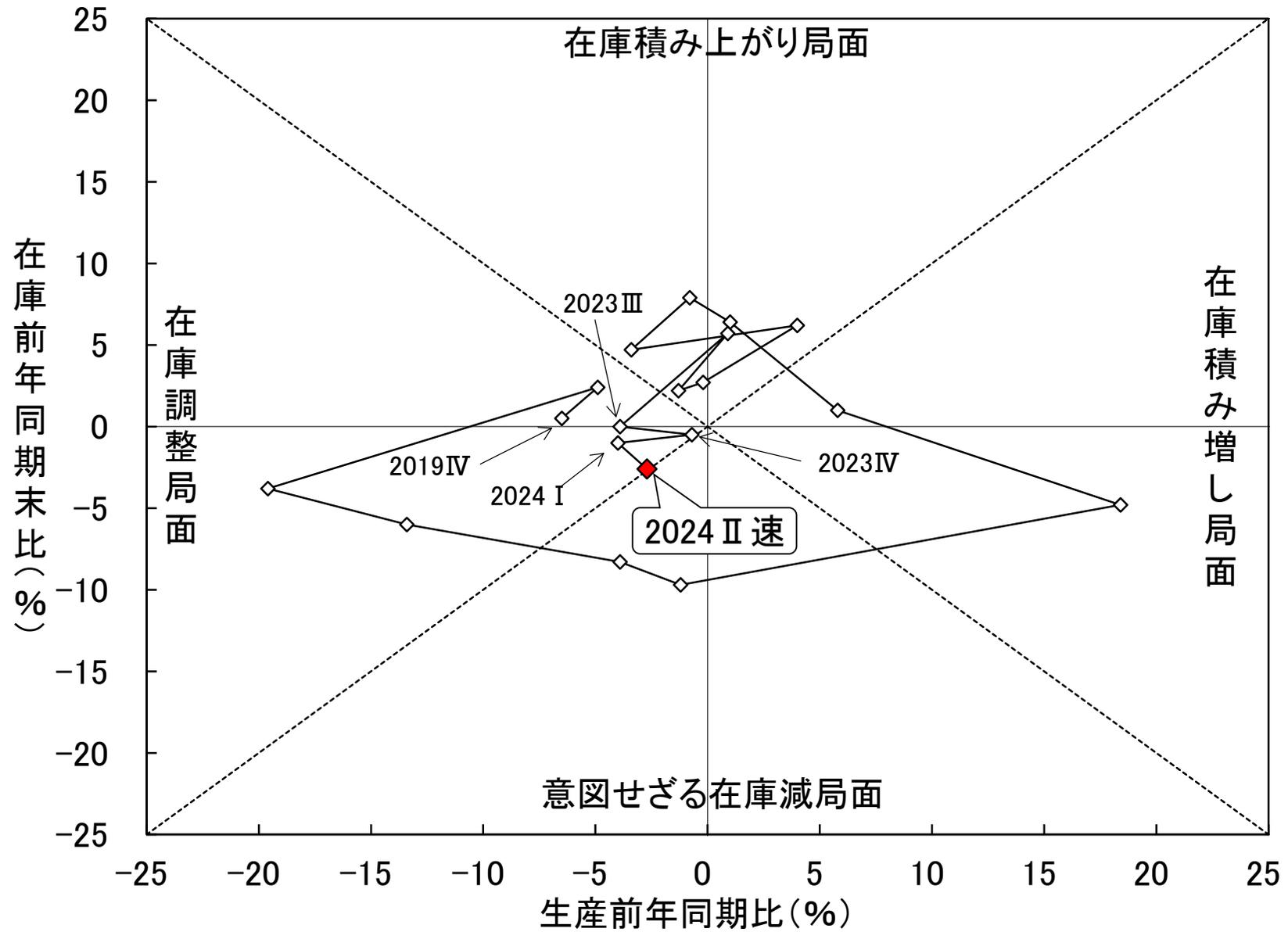
・ 2024年6月の鋳工業在庫率指数は、107.3(前月比2.1%)と3か月ぶりの上昇。

(2020年=100、季節調整済)



(月／年)

鉍工業の在庫循環図



製造工業生産予測指数 時系列

<製造工業>

2020年 = 100

年 月		季節調整済指数			前月比 (%)			実現率 (%)	予測修正率 (%)
		前月実績	当月見込み	翌月見込み	前月実績	当月見込み	翌月見込み		
2023年	5月調査	106.0	109.9	108.4	▲ 0.4	3.7	▲ 1.4	▲ 4.1	▲ 0.7
	6月調査	104.1	107.3	108.5	▲ 1.8	3.1	1.1	▲ 5.3	▲ 1.0
	7月調査	105.5	107.2	109.0	1.3	1.6	1.7	▲ 1.7	▲ 1.2
	8月調査	104.0	107.2	107.0	▲ 1.4	3.1	▲ 0.2	▲ 3.0	▲ 1.7
	9月調査	103.5	106.8	110.7	▲ 0.5	3.2	3.7	▲ 3.5	▲ 0.2
	10月調査	105.8	109.7	107.9	2.2	3.7	▲ 1.6	▲ 0.9	▲ 0.9
	11月調査	106.6	107.5	110.2	0.8	0.8	2.5	▲ 2.8	▲ 0.4
	12月調査	104.7	110.1	103.7	▲ 1.8	5.2	▲ 5.8	▲ 2.6	▲ 0.1
2024年	1月調査	107.5	102.4	103.5	2.7	▲ 4.7	1.1	▲ 2.4	▲ 1.3
	2月調査	97.5	101.1	103.6	▲ 9.3	3.7	2.5	▲ 4.8	▲ 2.3
	3月調査	97.8	102.6	106.0	0.3	4.9	3.3	▲ 3.3	▲ 1.0
	4月調査	101.6	105.8	110.5	3.9	4.1	4.4	▲ 1.0	▲ 0.2
	5月調査	103.0	110.1	103.9	1.4	6.9	▲ 5.6	▲ 2.6	▲ 0.4
	6月調査	108.2	103.0	106.7	5.0	▲ 4.8	3.6	▲ 1.7	▲ 0.9
	7月調査	100.7	107.2	108.0	▲ 6.9	6.5	0.7	▲ 2.2	0.5

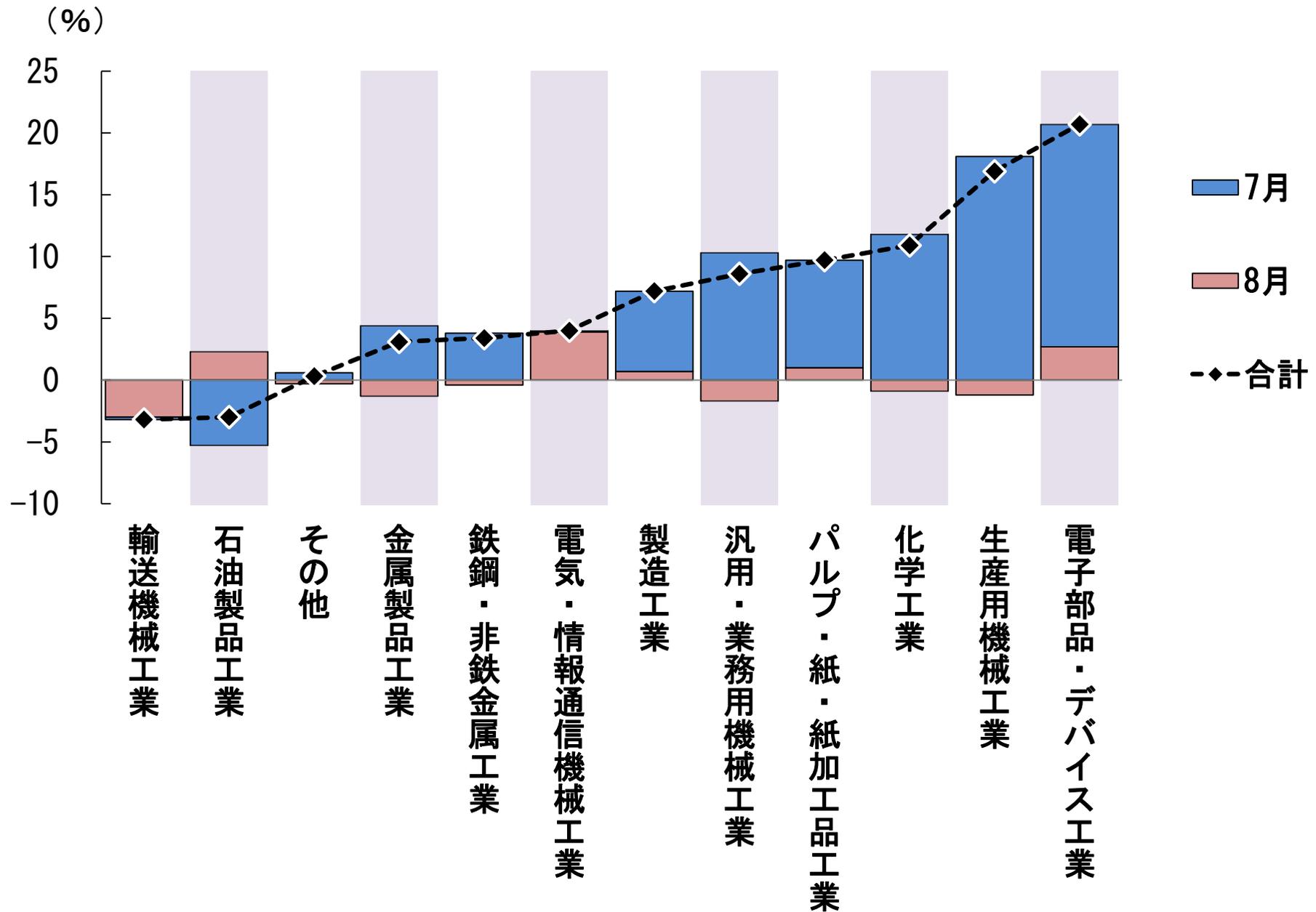
製造工業生産予測指数（当月、翌月の生産伸び率）

	6月調査 (前回)		7月調査 (今回)	7月調査 補正值
7月見込み	3.6 %	⇒	6.5 %	4.0 % (2.7%~5.4%)
8月見込み	—		0.7 %	—

(参考) 前回調査の結果

	6月予測調査	6月補正值	実際の結果 鉱工業生産指数
6月前月比	-4.8 %	-6.0 % (-6.9%~-5.0%)	-3.6 %

2か月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



2024年7月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種		低下寄与業種		横ばいの業種	
業種名	計画前月比	業種名	計画前月比	業種名	計画前月比
生産用機械工業	18.1%	石油製品工業	-5.3%	—	—
電子部品・デバイス工業	18.0%	輸送機械工業	-0.2%		
化学工業	11.8%				
汎用・業務用機械工業	10.3%				
鉄鋼・非鉄金属工業	3.8%				
パルプ・紙・紙加工品工業	8.7%				
金属製品工業	4.4%				
その他	0.6%				
電気・情報通信機械工業	0.1%				

(注) 業種の並びは、寄与（影響度）が大きい順。

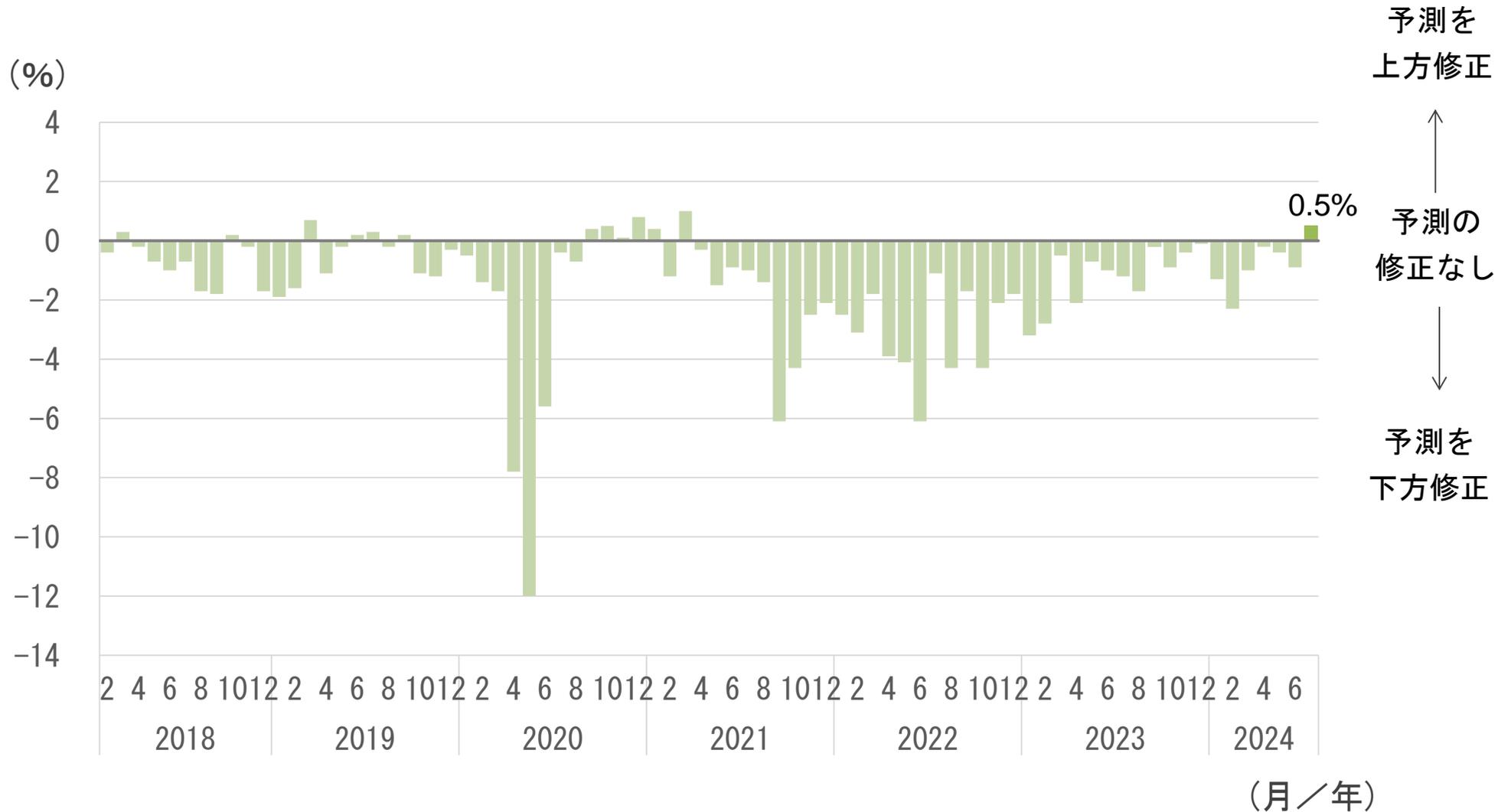
2024年8月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種		低下寄与業種		横ばいの業種	
業種名	計画前月比	業種名	計画前月比	業種名	計画前月比
電気・情報通信機械工業	3.9%	輸送機械工業	-3.0%	—	—
電子部品・デバイス工業	2.7%	生産用機械工業	-1.2%		
石油製品工業	2.3%	汎用・業務用機械工業	-1.7%		
パルプ・紙・紙加工品工業	1.0%	化学工業	-0.9%		
		金属製品工業	-1.3%		
		鉄鋼・非鉄金属工業	-0.4%		
		その他	-0.3%		

(注) 業種の並びは、寄与（影響度）が大きい順。

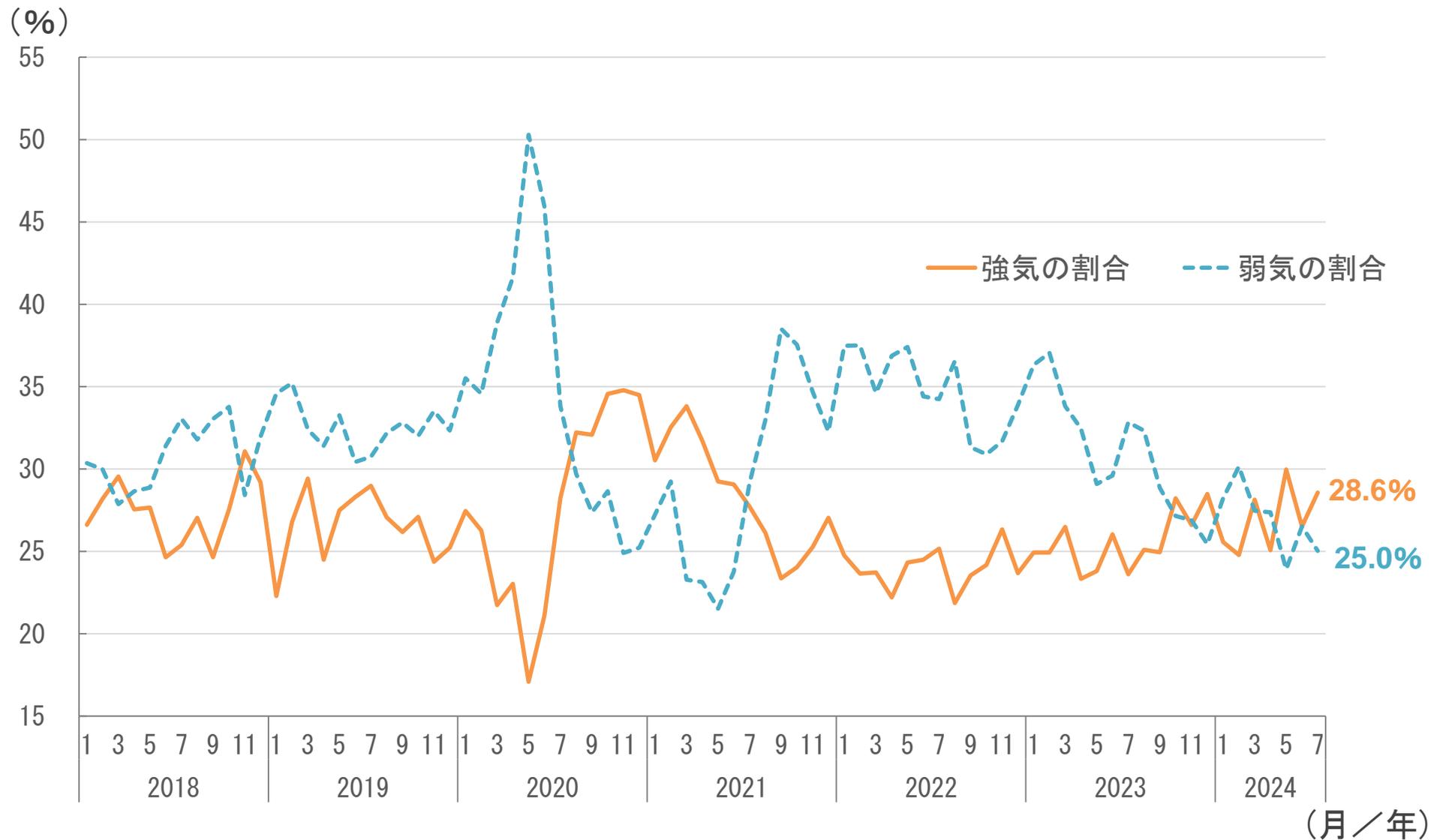
予測修正率の推移

- ・ 当月の生産計画が前回の生産計画からどの程度修正されたかを示したものが予測修正率となる。
- ・ 今回の調査では、予測修正率は0.5%の上昇。
- ・ 生産計画は40か月ぶりの上方修正となった。



強気と弱気の比率の変化

・7月調査結果のDIの内訳をみると、強気が28.6%、弱気が25.0%となっている。6月と比べて強気の割合は増加し、弱気の割合は減少した。



2024年4～6月期(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

四半期	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	101.9	101.1	102.7	106.3
前期比	2.9%	3.6%	0.1%	2.1%
指数水準	2023Ⅳ 104.4以来 Ⅰ 2018Ⅳ 115.5 Ⅱ 2018Ⅱ 114.6 Ⅲ 2018Ⅰ 114.4	2023Ⅳ 103.6以来 Ⅰ 2018Ⅱ 115.8 Ⅱ 2018Ⅰ 115.0 Ⅲ 2018Ⅳ 114.9	2023Ⅳ 102.7以来 (超)2023Ⅲ 103.6以来 Ⅰ 2023Ⅱ 105.5 Ⅱ 2020Ⅰ 104.3 Ⅲ 2019Ⅱ 104.1	2020Ⅱ 113.8以来 Ⅰ 2020Ⅱ 113.8 Ⅱ 2024Ⅱ 106.3 Ⅲ 2023Ⅱ 104.9
前期比の動き	2期ぶり+ (2023Ⅳ以来)	2期ぶり+ (2023Ⅳ以来)	4期ぶり+ (2023Ⅱ以来)	2期連続+ (2024Ⅰ～当期)
前期比幅	2022Ⅲ 3.1%以来 Ⅰ 2020Ⅲ 7.7% Ⅱ 2020Ⅳ 5.9% Ⅲ 2022Ⅲ 3.1%	2020Ⅳ 5.5%以来 Ⅰ 2020Ⅲ 8.2% Ⅱ 2020Ⅳ 5.5% Ⅲ 2024Ⅱ 3.6%	2023Ⅱ 1.8%以来 Ⅰ 2022Ⅲ 3.5% Ⅱ 2021Ⅳ 3.1% Ⅲ 2021Ⅲ 2.2%	2023Ⅰ 3.5%以来 Ⅰ 2020Ⅱ 21.5% Ⅱ 2019Ⅳ 4.6% Ⅲ 2021Ⅲ 4.0%
前年同期比(原指数)	-2.7%(99.6)	-2.8%(97.6)	-2.6%(103.5)	1.3%(107.5)
前年同期比の動き	4期連続- (2023Ⅲ～当期)	4期連続- (2023Ⅲ～当期)	3期連続- (2023Ⅳ～当期)	11期連続+ (2021Ⅳ～当期)
前年同期比幅	2024Ⅰ -4.0%以来 ① 2020Ⅱ -19.6% ② 2020Ⅲ -13.4% ③ 2019Ⅳ -6.5%	2024Ⅰ -4.6%以来 ① 2020Ⅱ -20.3% ② 2020Ⅲ -13.7% ③ 2019Ⅳ -6.4%	2021Ⅱ -4.8%以来 ① 2021Ⅰ -9.7% ② 2020Ⅳ -8.3% ③ 2020Ⅲ -6.0%	2024Ⅰ 2.9%以来 Ⅰ 2020Ⅱ 28.7% Ⅱ 2020Ⅲ 11.2% Ⅲ 2023Ⅱ 10.4%

1) Ⅰ～Ⅲは2020年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鋳工業生産指数前期比 業種別の影響度合い

・2024年4-6月期の生産指数は、汎用・業務用機械工業が低下したものの、自動車工業などが上昇したため、前期比2.9%の上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)

